

2022

9

山形県広報誌 令和4年9月号 No.629

県民のあゆみ



- 2 | 県民の皆さまへ 新型コロナウイルス感染症関連情報
- 4 | 特集 「果樹王国やまがた」の再生に向けた取組み
- 8 | 奏であう人 誰もが安心して暮らせる地域を目指して
- 16 | 潜入レポート！ 山形新幹線車両センター

大江町就農研修生受入協議会会長の渡辺誠一さんと、新規就農した角田愛理さん。角田さんは、渡辺さんの元で研修を積み、今年から独立して、すももや野菜などの生産に取り組んでいます。
(撮影場所：渡辺さんのすもも畑)

地域経済・県民生活を支援!

— 6月補正予算(54億2,400万円)の概要 —

新型コロナに加え、原油価格や物価の高騰により、県民生活はもとより、さまざまな業種に影響がでています。県では、感染拡大の防止と地域経済の回復を両立させるとともに、喫緊の課題に対応するため、6月補正予算を編成しました。その代表的な取組みをご紹介します。

① コロナ禍における原油価格・物価高騰等への対応

(1) 事業者の事業継続への支援

原油価格・物価高騰により、厳しい経営状況に置かれている県内中小企業・小規模事業者や運輸業、農林漁業者などを支援

- 新型コロナに加え、原油価格・物価高騰の影響を受けている県内事業者への給付金の支給
- 運送事業者や地域公共交通事業者への支援
- 漁業者の漁業用燃油・資材価格高騰への支援
- 畜産農家の配合飼料価格高騰への支援



(2) 県民生活への支援

新型コロナや物価の高騰などにより、厳しい環境に置かれている低所得の子育て世帯や生活困窮世帯、県内外の学生などを支援

- 低所得の子育て世帯への生活支援特別給付金の支給
- 生活困窮世帯や低所得の子育て世帯への県産米の提供
- 県内外の高等教育機関の学生に対する県産米の提供
- 学校給食に係る原材料費高騰への支援や県産水産物の提供
- 市町村のプレミアム商品券等発行事業への支援の拡充



② ウイズコロナ・ポストコロナへの対応

- インバウンドの復活に向けた県内空港への国際チャーター便運航への支援
- オンライン商談会への参加やEコマースへの参入など県内小規模事業者などの販路拡大の取組みへの支援

③ 新型コロナウイルス感染症への対応

- コロナ禍における医療機関の医療提供体制やPCR検査体制の整備支援
- 保健所における新型コロナ対応業務の効率化
- 高校部活動での県外遠征参加者や感染者が確認された中小企業などへの抗原定性検査キットの配布

※速やかに事業に取り組んでおり、9月1日時点では申請期間や事業が終了している場合もあります。

県内事業者向け

原油価格・物価高騰緊急支援給付金

新型コロナの影響による売上減少に加え、原油・原材料価格や物価の高騰の影響を受けている県内事業者の事業継続を支援するため、県独自の給付金を支給します。

対象	令和4年4月・5月・6月のいずれかの売上が、令和元年～令和3年のいずれかの年の同月と比較して30%以上減少した県内事業者 ※大企業、政治団体、性風俗産業、系統出荷による収入を主とする個人農林水産業者を除く ※バス、タクシー・ハイヤー、運送事業者の方には別の支援制度があるため本給付金の併給は不可 ※運転代行業者、貨物軽自動車運送事業者(いわゆる黒ナンバー)、霊柩運送事業者は本給付金の対象
給付額	1事業者あたり 法人10万円、個人事業主5万円
申請期限	9月30日(金)まで(消印有効) ※申請をお考えの方はお早めにご申請ください。
申請方法	県ホームページから申請書をダウンロードし必要書類を添えて郵送で申請 郵送先: 〒983-8799 仙台東郵便局留め(宮城県仙台市宮城野区苦竹3-5-1 DNP内) 県ホームページ 「山形県原油価格・物価高騰緊急支援給付金」事務局宛
お問い合わせ先	山形県原油価格・物価高騰緊急支援給付金コールセンター 電話番号: 0570-001-282 受付時間: 午前9時～午後6時(土・日・祝日除く)

県ホームページ



県民の皆さまの命と暮らしを守るために



新型コロナにつきましては、全国的に、より感染力が強いとされるオミクロン株BA.5系統への置き換わりが進み、本県においても、7月下旬から感染者数が急増し、新たな感染の波、第7波に入ったものと捉えています。県民の皆さまには、改めて、基本的な感染防止対策の徹底をお願いいたします。特に、換気が不十分な場合、クラスター発生の要因となるエアロゾル感染のリスクが高まりますので、効果的な換気の徹底をお願いいたします。

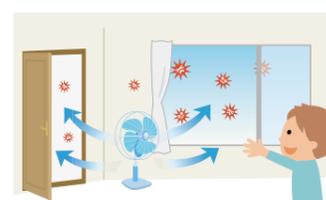
県としましては、保健・医療提供体制の確保に努めるとともに、感染防止・重症化防止の要であるワクチン接種の促進を図ってまいります。あわせて、県内企業の大部分を占める中小企業等が事業を継続することができるよう、抗原検査キットの活用支援など、今後も感染防止と事業・経済活動の両立に全力を挙げて取り組んでまいります。

新型コロナに対して最大限の警戒を行いながらも、可能な限り日常生活を取り戻していくことが重要であります。県民の皆さま、事業者の皆さま、一緒になってこの新型コロナの大波を乗り切ってまいりましょう。

山形県知事 吉村美栄子

県民の皆さまに改めてのお願い

県民の皆さまには、引き続き、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。また、事業者の皆さまには、従業員の健康管理をはじめ、業種ごとの「感染拡大予防ガイドライン」の順守の徹底をお願いします。



ポイント

- 窓とドアなど2か所を開ける
- 扇風機や換気扇を併用する

効果的な換気によるエアロゾル感染防止



ポイント

- 熱中症に注意し、屋外で会話のない場合はマスクを外す

場面に応じた不織布マスクの適切な着用



ゼロ密(密閉・密集・密接)すべてを避ける)



こまめな手洗いと手指消毒



発熱やせきなど少しでも体調が悪いときは、外出を控え、事前連絡をして医療機関を受診



食事は「黙食」、会話するときはマスクを着用

ワクチンの3回目接種の促進について

10代から30代の若い世代の3回目のワクチン接種率が他の世代と比べて低い状況です。若い世代の皆さまには、ワクチンの効果と副反応等のリスクを踏まえ、自分自身と大切な人の健康を守るため、3回目接種の検討をお願いします。

なお、ワクチン接種は、ご本人の意思に基づき接種いただくものであり、強制したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをしたりすることがないようにお願いいたします。

ワクチンに関する情報はこちら



▶ お問い合わせ ◎ コロナ収束総合企画課 ☎023-630-2494

特集 「果樹王国やまがた」の再生に向けた取り組み ～果樹産地のさらなる発展を目指して～



県が20年以上の年月をかけて育成した「やまがた紅王」が今年プレデビューしました。
「果樹王国やまがた」のさくらんぼ生産を支える主力品種の一つとなることが期待されます。

果樹王国やまがた

山形県は、さくらんぼの収穫量が全国一で、約75%のシェアを誇り、その他にも、ぶどう、りんご、西洋なしなどの生産が盛んな「果樹王国」です。本県の令和2年の果実産出額は全国第4位の729億円で、県の農業産出額では米に次いで多く、約30%を占めています。また、果樹産業は、例えば観光果樹園のように観光などの関連産業への波及効果の大きい産業でもあります。

品目	産出額 (億円)	全国順位
さくらんぼ	333	1位
ぶどう	158	4位
りんご	95	4位
西洋なし	62	1位
もも	44	6位
かき	15	9位
すもも	10	3位
果実全体	729	4位

出典：農林水産省「生産農業所得統計」

1 気象災害による被害の拡大

近年は気象災害が激甚化・頻発化し、果樹生産でも被害が拡大しています。特に令和3年春には、広域的な凍霜害が発生し、果樹全体で129億円の未曾有の甚大な被害を受けました。安定的な果樹生産のためには早急な対策が必要です。

2 高齢化による果樹経営体の減少

果樹生産は、苗木を植えてから収穫まで数年かかり、新規参入にはハードルがあります。これまで生産の中核を担ってきた世代の高齢化により、果樹経営体数は、年々減少しています。果樹生産は人手不足を解消するための機械化が難しく、経営面積の拡大にも限界があるため、新たな担い手を育成する必要があります。



3 園地の生産性の低下

果樹の老木化や雪害による枝折れなどで園地の生産性が低下しています。また、高齢者が離農しても、園地が新たな担い手に継承されず、廃園となるケースも増えています。今後も果樹生産を維持するには、果樹の植え替えや園地の集約などにより生産性を高め、新たな担い手に継承する必要があります。

1 気象災害対策

県では、ソフト・ハードの両面から気象災害対策を進めています。

ソフト面では、令和4年3月に「果樹凍霜害対策マニュアル」を作成し、対策を広く周知するとともに、デジタル技術を活用した低温アラート情報を提供しています。具体的には、県内の果樹園地57カ所に設置されている「気象観測装置」で気温を観測し、気温が低下するとメールでお知らせするシステムを今年から稼働しています。

また、ハード面では、散水した水が凍結する際の熱を利用して霜害を防止する散水設備や加温装置などの導入を支援しています。



さくらんぼ生産者 秋場尚弘さん (寒河江市)

散水設備を導入し、低温アラートをもとに散水したことで、令和4年の霜害はほとんどありませんでした。

2 新たな担い手の育成・確保

県では、新規就農希望者からの相談や農業者からの経営相談に応じる

「山形県農業経営・就農支援センター」を立ち上げました。センターでは、ワンストップで就農前の研修や就農後の生活資金、農業機械などを購入する資金をはじめ、さまざまな相談を受けています。特に、果樹は苗木を植えてから収穫まで数年かかるため、安定的な生産までの支援を行っています。

また、地域の新規就農者受入団体に対して、新規就農に必要な農業機械や施設の導入を支援し、担い手の育成・確保の取組みを後押ししています。

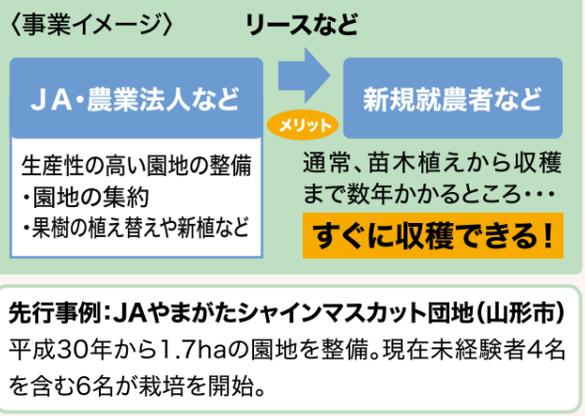


大江町就農研修生受入協議会「OSINの会」会長 渡辺誠一さん

県の事業を活用し、新規就農者にリースする農業機械を導入しました。「OSINの会」ではこれまで約20名の新規就農者を受け入れています。

3 就農しやすいリース型園地の整備

県では、市町村と連携し、JAや農業法人などが先行投資により生産性の高い大規模な園地を整備し、新規就農者などにリースする取組みを進めています。初年度から収穫できる園地を新規就農者などにリースす



4 果樹の魅力を高める研究開発

県農業総合研究センター園芸農業研究所では、今年プレデビューした「やまがた紅王」に続く、さくらんぼや西洋なし、りんご、ぶどうの新品種の開発に取り組んでいます。

また、危険な高所作業が少なく、高齢者や栽培経験が浅い人でも取り組みやすい「さくらんぼの新型樹形」など、栽培技術の省力



今年プレデビューした「やまがた紅王」

「果樹王国やまがた」の発展に向けて

本県の果樹産業は、農業者と農業団体、行政が一体となって、栽培技術や品種の改良、園地整備、流通対策などに取り組み、「佐藤錦」、「ラ・フランス」などをトップブランドの品目に育て上げてきました。今後、先人が育て上げた産地を新たな担い手に継承していくための取組みを強化し、「果樹王国やまがた」のさらなる発展を目指します。



新型樹形のY字樹形



新型樹形の平棚樹形

ぜひご覧ください!

県政テレビ番組 **いきいきやまがた** 放送のご案内

「『果樹王国やまがた』の再生に向けた取組み」と題して県内民放4局で特別番組(30分)を放送します。

さくらんぼテレビ(SAY)
●9月4日(日)午後4時～

山形テレビ(YTS)
●9月11日(日)午後4時～

テレビユー山形(TUY)
●9月17日(土)午後5時～

山形放送(YBC)
●9月24日(土)午後4時25分～

放送時間は変更になる場合があります。

▶問い合わせ ◎ 園芸大国推進課 ☎023-630-2466



国指定重要文化財 山形県庁舎及び県会議事堂 (山形市)

国指定特別天然記念物 東根の大ケヤキ (東根市)

「未来に伝える山形の宝」構成文化財 釜淵番楽 (真室川町)

未来へつなごう山形県の文化財

文化財は、建造物、美術工芸品など有形のもの、芸能や工芸技術など無形のもの、遺跡、名勝地など土地に関わるものや動植物など多岐にわたります。県では、「山形県文化財保存活用大綱」(令和4年3月)を策定し、「保存と活用の好循環」により、地域の宝である文化財を継承する取組みを進めています。

文化財を継承することの大切さ

- 本県の歴史と文化を今に伝える県民共有の財産としての文化財
- 文化財の継承活動を通じた子どもの郷土愛の育成
- 文化財の活用による地域活性化や観光振興などの地域の魅力向上 など

文化財の継承にあたっての課題

- 適切な保存に向けた所有者の専門的知識や資金の不足
- 文化財に触れる機会・知る機会の不足
- 少子高齢化などによる継承の担い手の減少 など

「保存と活用の好循環」による未来への継承

①文化財を確実に保存するための取組み

県指定文化財の損傷状態の調査や、所有者への管理・修繕に係る経費の支援を行っています。

技術や知識、経験をもとに、所有者の方と意思疎通を図り、信仰されてきた姿と歴史的価値をもち、後世永きに継承するための保存修復を心掛けています。



県指定文化財 木造阿彌陀如来坐像 (平塩寺(寒河江市))の修繕



東北古典彫刻修復研究所 (山市) 副所長 渡邊 真吾さん

②文化財を活用し理解促進へつなげる取組み

日本遺産である「出羽三山」や「紅花」にまつわる文化の価値や魅力を発見する「親子伝統文化体験事業」を行っています。体験の様子は動画で紹介しています。



山伏文化体験(鶴岡市)



紅花染め体験(河北町)

動画はこちら



出羽三山文化



紅花文化

今年度は、岩根沢三神社(西川町)での「神楽体験」や大石田町内での「こて絵(漆喰を使ったレリーフ)体験」を実施する予定です。

③みんなで文化財を守り伝える継承の取組み

地域の文化財を保存・活用する取組みを「未来に伝える山形の宝」として登録・推進し、継承の担い手の育成を支援しています。



笹野観音堂などの歴史・文化に、幅広い世代が親しむことができる取組みを進めています。最近では、県内外から茅の加工体験などに関わってくださる方々が増えてきました。
ささの里づくり推進協議会(米沢市) 会長 加藤 政治さん



県指定文化財 笹野観音堂(米沢市)



茅の加工体験

▶問い合わせ ◎ 文化財活用課 ☎023-630-2881

山形県文化財保存活用大綱の詳細はこちら



健康長寿日本一を目指して チャレンジ!プラス1,000歩!

県では、今年度新たに「ウォーキングプロジェクト」を立ち上げ、「チャレンジ!プラス1,000歩!」をキャッチフレーズに、県民の皆さんを対象に歩く習慣を身につける取組みをスタートします。

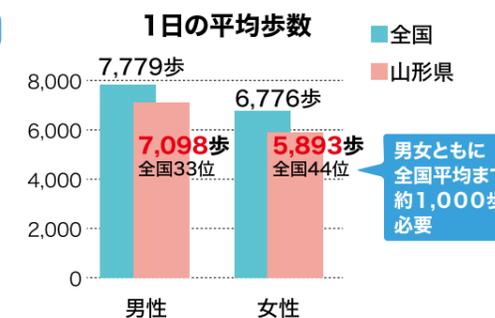


ウォーキングで健康づくり!

適度な運動は、健康づくりに効果的です。普段から運動習慣のある人は、新型コロナに感染しても重症化するリスクが低減するといった研究結果も発表されています。

一方、本県では、車社会を背景に1日の平均歩数が全国と比べ約1,000歩少ないなど、日々の運動不足が課題となっています。

日本一空気がきれいな山形県で、誰でも手軽に始められるウォーキングに取り組んでみませんか。



ウォーキングプロジェクト

やまがた健康長寿日本一ウォーキング大会

子どもからシニアの方まで、みんなで楽しみながら参加できるウォーキング大会を開催します。

大会では、年齢や体力に応じてコースを選べるほか、給水地点で山形のおいしいものも堪能できます。また、コース途中で出題されるクイズに全て答えると景品がもらえるウォークラリーも実施。この機会にウォーキングに挑戦してみましょう。

- 期日: 9月24日(土)
- 場所: 山形県総合運動公園(天童市)

※申込方法など詳しくは公式ホームページをご覧ください。なお、申込なしで当日参加も可能です。



チャレンジ!プラス1,000歩! ウォーキング月間チャレンジ

参加者が目標歩数を決めてウォーキングに取り組むチャレンジ企画です。目標歩数を達成した方には、抽選で素敵なプレゼントが当たります。

ウォーキングに取り組む期間:

- 第1期 9月26日~10月23日
- 第2期 10月24日~11月20日
- 第3期 11月21日~12月18日

※参加方法など詳しくは公式ホームページをご覧ください。

すぐできる!ウォーキングのすすめ

さわやかな風を受けて歩くことは心豊かな健康づくりに役立ちます。体への負担が少なく、さまざまな病気の予防にも効果的。プラス1,000歩にぜひ挑戦してみてください!

目安は1日8,000歩。初めは、普段よりプラス1,000歩を目標に、徐々に歩数を増やしましょう。

- 顔** あごを軽く引き、目線を10~20m先にすると背筋がピンと伸びます。
- 腕** 肘を約90度にまげて前後に大きく振ります。
- 腰** 腰を回して一直線上を歩くように意識すると歩幅が広がります。
- 足** 歩幅は普段より大きく取りつま先で地面をけり、かかとから着地します。



鳥海ウォーキングクラブ 会長 阿部 淳さん

- 注意点
- 屋外で人との距離が取れる場合はマスクを外す
 - 涼しい服装で暑い時間帯を避ける
 - こまめな休憩、こまめな水分補給
 - 暑いときは無理をしない



やまがた健康フェア2022

会場内でのモールウォーキングのほか、健康セミナーや健康相談を行い、県民の皆さんの健康づくりを応援します。キッズコーナーでの健康クイズ大会や食育ゲームもありますので、ぜひご来場ください。

- 期日: 9月23日(金・祝)
- 場所: イオンモール天童

やまがた健康長寿日本一プロジェクト

公式ホームページはこちら



▶問い合わせ ◎ がん対策・健康長寿日本一推進課 ☎023-630-2313

奏であう人

vol.67



おがわ まみ 小川 真実さん(高島町)

昭和62年生まれ。南陽市出身、高島町在住。中学校の頃からボランティア活動に参加し、現在は南陽市社会福祉協議会に勤務。南陽市青年教育推進事業で出会ったメンバーと青年グループ「Zu-Zu-Z」を結成し、2021年より「あまやどり」の名で地域食堂を月2回開催。食の支援のほか、ケーキづくりやフラワーアレンジメントなど参加者が交流できる企画も行っている。

誰もが安心して暮らせる地域を目指して



世代や境遇を超えて交流できる、地域食堂を運営する小川さんとフードバンク活動を通し、食の支援を手がける伊藤さんにも誰もが安心して暮らせる地域づくりのお話をお聞きしました。



お弁当のおいしさや栄養バランスはもちろんのこと、お腹を満たすと同時に笑顔になってもらえるように必ずデザートを付けるなど、提供する食事の内容に気を配っている。



いとう ちえ 伊藤 智英さん(山形市)

昭和43年生まれ。東根市出身、山形市在住。ベトナム旅行の際、物乞いをする幼い姉妹を見たことをきっかけに、自身が社会のためにできることを模索し始める。2016年より家庭や企業で余っている食材を集め、必要としている人に届ける「フードバンク」の取組みを始め、後に「一般社団法人やまがた福わたし」を設立。14名のボランティアスタッフとともに、活動を行っている。



扱う食材は米や調味料をはじめ、火を使わずに調理できるものまで多岐にわたる。食材の在庫や賞味期限などのデータは二次元コードで管理され、届け先の家族構成や経済状態に合わせて詰め合わせの内容を変えながら発送される。

日常からは気づけない
貧困の存在を知って

「山形は貧困とは無縁。事業をはじめめる前は、そう思っていました。」

伊藤さんは自身ができるボランティアを探すなか、1日1食の子どもや弁当を持っていけない子どもが山形にもいることを知り、フードバンク活動をはじめめる決意をしたそうです。

「今では、年間15トンの食料を預かり、約800世帯の必要な方へと届けられています。これほど助けが必要なお方があることは、この事業をしなければ気づけなかつたかもしれません。」
社会福祉協議会で働く小川さんもまた、コロナ禍で生活に困っている方を目の当たりにしました。

「せめて食で支援はできないものかと、所属する青年グループのメンバーと共に、さまざまな世代や境遇の方が安心して利用できる地域食堂を始めました。」

地域食堂の開設から1年が経つなか、賛同してくださる個人の方や企業が増え、今では一度に120食ものお弁当を提供しているそうです。

「準備は大変ですが、”おいしかったよ”、”あなたの顔を見にきたよ”と利用者の方から笑顔で声をかけてもらえることが、活動の原動力になっています。」

小川さんの言葉に共感した伊藤さんが言葉をつなぎます。

「食べ物はお腹だけでなく心も満たしてくれると思います。食材を届けた先の子どもさんから”僕も大人になつたら、困っている人を助けることがしたい”とうれしい言葉ももらったことが忘れられません。」

お腹いっぱいのおいしい食事で
誰一人取り残さない社会を目指す

一方で抱えている課題もあると小川さんが話します。

「地域食堂という活動自体、知名度の低さもありますが、生活に困っている方の利用はまだ少ないように思えます。支援を受けることへのためらいがあるのかもしれない。」

見た目からは生活苦の有無がわからない時代。支援が必要な方には多様なアプローチが求められていると伊藤さんは話します。

「食で支援する活動は、広域連携によりさらに意味があるものになります。例えば、私たちが置賜に根ざしている団体と連携することで、活動がより活発にでき、置賜で支援を必要としている方にも食材を届けることができ、支援の輪が県内全域で広まれば、誰一人取り残さない社会の実現に近づけるのではないのでしょうか。」

団体ごとに取組みこそ異なりますが、目指す方向は同じ。手を取り合っ進んでいくことで、新しい未来が開けるのかもしれない。

「何が起ころかわからないのが人生。困ったときはお互いさまです。私たちの届ける食材が受けとった方の”福”となり、生活を支え、再びスタートを切るための一助になればうれしいです。」

伊藤さんの言葉を受けて、小川さんが続けます。

「同じ県に住む者同士、お互いさまという気持ちを育んでいきたいですね。私たちの地域食堂も、(あまやどり)という名前に込めたように、困っている方が気軽に立ち寄り、ひと休みできるような場所になればと思います。」



県議会の最新情報
コチラから
今すぐアクセス!



6月定例会の概要

令和4年6月定例会は、6月2日から6月21日までの20日間の会期で開催されました。コロナ禍において原油価格・物価高騰の影響が出ている中、厳しい環境に置かれる県民の皆さんや中小企業者・農林水産事業者などに対する支援や、引き続きコロナ対策を拡充するため総額54億2,400万円の令和4年度一般会計補正予算をはじめ、知事提出の19議案を可決・同意しました。また、請願1件を採択、意見書1件を可決しました。

今定例会では、憲法改正に関する知事の見解についてや、沖縄復帰50周年と本県戦没者慰霊等についてなど活発な質疑質問が行われました。



6月定例会で採択した請願

- 令和4年度水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書の提出について

6月定例会で可決した意見書

- 令和4年度水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書

6月定例会で質疑質問を行った議員

質疑質問の様子(動画)や会議録はこちらからご覧いただけます!



録画中継



会議録検索システム
(※6月定例会分は9月以降に掲載予定)

代表質問 (6月7日)

自由民主党 洪間佳寿美 議員
(米沢市選挙区)
◆ 憲法改正に関する知事の見解 など

県政クラブ 石黒 覚 議員
(酒田市・飽海郡選挙区)
◆ 沖縄復帰50周年と本県戦没者慰霊等 など

一般質問 (6月8日)

自由民主党 梶原宗明 議員
(酒田市・飽海郡選挙区)
◆ 人・農地プランにおける担い手の確保 など

県政クラブ 今野美奈子 議員
(鶴岡市選挙区)
◆ 外国からの攻撃への備え など

自由民主党 矢吹栄修 議員
(天童市選挙区)
◆ モンテディオ山形の新スタジアム建設に向けた考え など

本会議

全議員から構成される会議で、議会の最終的な意思が決定されます。会議の内容は会議録の形で記録されます。また、会議公開の原則から、原則として自由に傍聴できます。

予算特別委員会 (6月10・13・14日)

自由民主党 遠藤和典 議員
(山形市選挙区)
◆ 「ゼロカーボンやまがた2050」の実現に向けた水素の活用 など

日本共産党 山形県議団 関 徹 議員
(鶴岡市選挙区)
◆ 食料自給率と水田活用の直接支払交付金の見直しに関する考え など

自由民主党 五十嵐智洋 議員
(長井市・西置賜郡選挙区)
◆ 医療的ケア児に対する教育の支援 など

自由民主党 島津良平 議員
(東置賜郡選挙区)
◆ 地域コミュニティの維持・再生に向けた取組み など

県政クラブ 梅津庸成 議員
(山形市選挙区)
◆ 子宮頸がんワクチンの接種状況と9価ワクチン促進及び副反応に対応する協力医療機関 など

自由民主党 鈴木 孝 議員
(東村山郡選挙区)
◆ 県内中小企業・小規模事業者が取り組む新規事業への支援 など

県政クラブ 青木彰榮 議員
(長井市・西置賜郡選挙区)
◆ 長井白鷹間の道路整備 など

自由民主党 伊藤重成 議員
(最上郡選挙区)
◆ 医師及び看護職員の県内定着に向けた修学資金貸与制度の改善策 など

水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書を提出

水田活用の直接支払交付金の見直しで、今後5年間に一度も水張りをしていない水田を交付対象から外す方針や、多年生牧草の助成額削減などが国から示されました。これにより耕作放棄地の拡大や離農の増加などが懸念されるとして、国への意見書提出を求める請願が農業団体から出されました。

6月定例会では、この請願が採択され、農林水産常任委員会が発議した意見書を全会一致で可決し、国に意見書を提出しました。



農林水産常任委員会の様子

詳しくはこちらから



ペーパーレス会議システム研修会を開催

県議会では、議会活動におけるICTの活用に向け様々な検討や試行を行っています。

その一環として、6月14日に、全議員を対象としたペーパーレス会議システムの研修会を開催しました。このシステムは、議会活動に関する資料を、いつでも、どこでも、手持ちのスマートフォンやタブレット等から確認することができるもので、このシステム導入により、資料管理の効率化や政策立案機能の強化が期待されます。

県議会のデジタル化・ペーパーレス化を推進し、議会活動の充実を図ってまいります。



生徒・学生と県議会議員との意見交換会を開催

7月19日、県立置賜農業高等学校の生徒会役員と農業クラブの生徒計9名と県議会議員5名が「若者の政治参加」や「若者の回帰・定着」をテーマに意見交換を行いました。

生徒や学生の皆さんから県議会を身近に感じてもらうとともに、政治参加意識を醸成する目的で始まったこの取組みも7年目を迎えましたが、今回も率直で活発な意見が交わされました。



県議会ギャラリーで「山形県緑の少年団」の活動を紹介

6月定例会期間中、県議会ギャラリーでは森林での学習、社会奉仕、レクリエーションなどを活動の柱とする「山形県緑の少年団」の各地域における活動状況を、写真パネルなどを用いて紹介しました。



県議会では、県内の児童、生徒、学生の皆さんが学校の授業や部活動などで制作した作品を展示するスペース「県議会ギャラリー」を提供しています。県議会に作品を展示してみませんか。



県議会の情報は、**山形県議会ホームページに** 満載です。**ぜひご覧ください!!**

- ① 定例会の概要や議会の日程
- ② 議会の生中継やこれまでの質疑の模様
- ③ 可決した意見書・決議の内容
- ④ 各常任委員会・特別委員会での質疑内容
- ⑤ 会派ごとの議案等に対する賛否状況 など



やまぎん県民ホールイベント情報

みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ2022
美術の学校・つくる・つかう・あそぶ・かんがえるー
山形ビエンナーレがやってくる！ワークショップ
やクラフト体験、アート作品の展示など、大人も
子どもも楽しめる様々なイベントを開催します。

開催日時 9月3日(土)～9月25日(日)

やまがたオペラフェスティバル
NISSAY OPERA 2022「セビリアの理髪師」

スペインのセビリアを舞台
に繰り広げられる痛快な恋
物語を、躍動感あふれる音
楽と演出で描き出します。



開催日時 12月10日(土)午後2時

出演 沼尻竜典(指揮)、山形交響楽団 ほか
演目 ロッシーニ/歌劇「セビリアの理髪師」
※日本語字幕付き原語上演
料金 SS席12,000円～C席5,000円
※その他お得なセット券あり

詳しくは やまぎん県民ホール

やまぎん県民ホールチケットデスク
023-664-2204(受付時間:水～月 10:00～19:00)

国際音楽交歓コンサート2022山形公演
国際的に活躍する演奏家を招聘し、世界トップ
クラスの演奏を鑑賞できるクラシックコンサ
ートを開催します。

開催日時 10月4日(火)午後7時
料金 入場無料
会場 やまぎん県民ホール(山形市)
その他 9月14日(水)までに事前
申込みが必要です。(申込
み多数の場合は抽選)
申込みはこちらから▶

文化スポーツ振興課 023-630-2903

山形交響楽団
定期演奏会情報

第304回定期演奏会

開催日時 10月22日(土)午後7時
10月23日(日)午後3時
出演 指揮:原田慶太楼 ピアノ:阪田知樹
小田実結子:山響創立50周年記念
委嘱作品(世界初演)、ドヴォルザーク:
ピアノ協奏曲 ト短調 作品33、
ドヴォルザーク:交響曲 第9番 ホ
短調「新世界より」作品95
会場 山形テルサ(山形市)
前売券 A席4,800円 ほか

詳しくは 山響

文化スポーツ振興課 023-630-2903

プロスポーツゲーム情報

「モンテディオ山形」ホームゲーム

日時	対戦チーム
9月3日(土) 午後7時	いわてグルージャ盛岡
9月14日(水) 午後7時	横浜FC
9月18日(日) 午後6時	ジェフユナイテッド千葉
10月1日(土) 午後2時	アルビレックス新潟
10月9日(日) 午後2時	水戸ホーリーホック
10月23日(日) 午後2時	徳島ヴォルティス

◎会場:NDソフトスタジアム山形(天童市)

◎詳しくは モンテディオ山形

「山形ワイヴァンズ」ホームゲーム

日時	対戦チーム【会場】
10月8日(土) 午後6時	アルティエリ千葉
10月9日(日) 午後2時	【山形県総合運動公園】
10月22日(土) 午後5時	越谷アルファーズ
10月23日(日) 午後2時	【南陽市民体育館】
10月26日(水) 午後7時	福島ファイヤーボンズ
	【山形県総合運動公園】

◎詳しくは 山形ワイヴァンズ

文化スポーツ振興課 023-630-3156

※7月31日時点の情報です。新型コロナウイルスの影響で変更となる場合がありますので、事前に☎にご確認ください。

旬のやまがた

美食レシピ

ほくほくおいしい希少なかぼちゃ

宇津沢かぼちゃ



飯豊町中津川地区宇津沢集落で栽培されている「宇津沢かぼちゃ」は、約100年前から同集落の屋号「八郎」宅が種を守り続けている伝統野菜で、別名「八郎かぼちゃ」とも呼ばれます。鮮やかなオレンジ色の外観と、甘くホクホクしたおいしきで、さまざまな料理に活用できる万能のかぼちゃです。9月中旬から11月中旬に収穫され、主に飯豊町内の道の駅などで販売されます。皮がかたく、へそが大きいものがおすすめです。

今回は、この伝統野菜をフランスのプロヴァンス風にアレンジしたレシピをご紹介します。

問い合わせ ☎ 置賜総合支庁農業振興課 0238-26-6051

宇津沢かぼちゃの甘いティアン

●材料(4名分):宇津沢かぼちゃ(皮をむき種を取る)1kg、バター70g、粉糖70g、全卵5個、A(シナモン・ナツメグ・オレンジピール 適量)、B(パン粉100g、粉糖大さじ3) ●作り方:①かぼちゃをさいの目に切り、少量の水で15分煮る。②柔らかくなったら水気を切り、裏ごしする。③フライパンにバター半量を入れ②と粉糖を加え10分加熱し、Aを加え混ぜる。④粗熱をとり、溶き卵を加え混ぜる。⑤グラタン皿にバター(分量外)を塗り、④を入れる。⑥Bをかけ、バターをちぎってちらし、230℃に温めたオーブンで10～15分焼き、表面に焦げ目がついたら完成。



SDGsを知ろう!
第3回

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

持続可能な「やまがた」に向けて

SDGsで掲げられている17のゴール(目標)その内容と私たちができる身近な取り組み例を全6回シリーズで紹介します。

やまがたSDGs推進月間
9月16日(金)～10月16日(日)

県全体でSDGsの実現に向け行動する「やまがたSDGs推進月間」を設定します。県ホームページに掲載している取り組み例なども参考に、皆さんもSDGsの実現に向けて取り組んでみましょう。



安全な水とトイレを世界中に

全ての人が、安全な水とトイレを利用できるよう衛生環境を改善し、管理していこう。

関連する県の主な施策
・川や海などの水質汚濁状況モニタリングの実施

みんなで今日からできるSDGs

- ・水の出っぱなしをやめよう
- ・油污れなどは流さないでふき取ろう



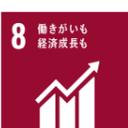
エネルギーをみんなにそしてクリーンに

全ての人が、安くて安定した持続可能な近代的エネルギーを利用できるようにしよう。

関連する県の主な施策
・家庭や事業所への再生可能エネルギー設備の導入支援

みんなで今日からできるSDGs

- ・身近な再生可能エネルギーについて調べてみよう
- ・エアコンの温度設定を適切にしよう



働きがいも経済成長も

持続可能な経済成長を促進し、全ての人が生産的で働きがいのある仕事に就けるようにしよう。

関連する県の主な施策
・企業などへの職場環境改善アドバイザーの派遣

みんなで今日からできるSDGs

- ・働きがいについて話し合ってみよう
- ・ワーク・ライフ・バランスを考えて働こう



問い合わせ ☎ 企画調整課 023-630-2896

山形県SDGs

大阪

神戸で山形県産すいかをPR!

大阪事務所では、7月31日(日)、神戸市にある「マリニピア神戸さかなの学校」で、新型コロナウイルスの感染防止対策を十分に行ったうえで県産すいかのPRイベントを開催し、多くの方にご参加いただきました。すいかに見立てた紙風船を目隠しして棒で叩いて割る「風船割りゲーム」では、子どもたちは目隠しのゲームに苦戦しながらも、うまく割れると「やったー!」と声を出して喜んでいました。この他、県産すいかの特徴の紹介や感染防止対策を徹底した試食などを行い、多くの方に県産すいかを知っていただくことができました。試食した方からは、「おいしい!」「甘い!」という声があがり、実際に食べていただくことで、県産すいかの魅力をより印象づけることができました。今後も大阪事務所では、様々な形で関西をはじめ西日本の皆さんへ本県産農産物の魅力を発信していきます。



風船割りゲームを楽しむ参加者

問い合わせ ☎ 県大阪事務所 大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階 06-6341-6816

Yamagata Now

地域の旬だより

各地からの情報を届けます。



※ 7月31日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の影響で変更となる場合がありますので、事前にご確認ください。

催し物

山形エクセレントデザイン展 2022
—山の向こうのデザイン物語—

山形でつくられた優れたデザインを選定・顕彰する「山形エクセレントデザイン」の受賞作品展示、トークイベントや



ものづくりワークショップのほか、受賞作品の一部を販売します。

◆ **期間** 9月16日(金)～24日(土)

※日・月曜日休館

◆ **会場** gura(山形市旅籠町)

◆ **販売品** はげごバッグ、さとやまソルト、k-hour project等

詳しくはこちら▶

④ **工業技術センター**

☎023-644-3222



プライム企画展「女神たちの饗宴—
「縄文の女神」国宝指定10周年—

舟形町の西ノ前遺跡で見つかった土偶「縄文の女神」が、国宝に指定されてから今年で10周年を迎えます。そのお祝いに、この秋、全国の国宝土偶(複製)4体が県立博物館に集結します。他にも、珍しい「赤ちゃん土偶」など、県内外の土偶が大集合です。会場では、デジタルサイネージで縄文の女神をイメージしたキャラクターが解説する動画も公開予定です。

詳しくはこちら▶

◆ **期間** 10月1日(土)～12月11日(日)

◆ **場所** 県立博物館(山形市霞城町)

④ **県立博物館** ☎023-645-1111



お知らせ

山形県宝くじ情報

県内で販売された宝くじの売上げの一部は、県や県内市町村の収益金となり、道路や橋、学校、公園の整備など私たちの身近な暮らしに役立てられています。宝くじはぜひ山形県内でお買い求めください。

ハロウィンジャンボ宝くじ
5億円
ハロウィンジャンボミニ
5,000万円
 発売期間:9月21日(水)～10月21日(金)

New **宝くじ** **いつでも買える。**
秒で結果でる。
「クイックワン(Quick One)」
宝くじ公式サイトで発売中!

④ **財政課** ☎023-630-2044

秋の交通安全県民運動
(9月21日～30日)

日没が早まる秋は、夕暮れ時から夜間にかけて交通事故が多くなります。車も自転車も、早めのライト点灯を心がけ、ドライバーはハイビームを積極的に活用し、歩行者は夜光反射材を身に着けて、交通事故を防ぎましょう。

④ **消費生活・地域安全課**
 ☎023-630-2460

日曜労働悩みごと相談会開催

労働問題に詳しい労働委員会委員による相談会を開催します。(相談無料・秘密厳守)

◆ **日時・会場**

10月9日(日)午前10時～午後3時

- 置賜総合文化センター(米沢市)
- 出羽庄内国際村(鶴岡市)

10月23日(日)午前10時～午後3時

- 大手門パルズ(山形市)
- ゆめりあ(新庄市)

※ 2日前までに電話かメールでご予約いただいた方が優先となります。メールでのご予約は労働委員会ホームページから。

詳しくはこちら▶



④ **労働委員会事務局**

☎023-666-7784

9月は「県自殺対策推進月間」です

心の健康に関する相談をお受けします。一人で悩まずにご相談ください。

◆ **こころの健康相談統一ダイヤル**

☎0570-064-556

◆ **受付時間** 月～金曜日(祝日除く)

午前9時～正午、午後1時～5時

※ 9月10日(土)から16日(金)は土日を含め午前9時から午後5時まで対応します。

◆ **こころの健康相談@山形**

LINEを利用した相談窓口を毎日午後6時30分～午後10時まで開設しています。

LINEアカウントはこちら▶



④ **地域福祉推進課**

☎023-630-2268

救急電話相談をご利用ください

夜間の急病の際に、専門的な知識を有する看護師から、医療機関への受診や家庭での対処方法についてアドバイスを受けられる「救急電話相談」を実施しています。

◆ **受付時間**

毎日午後7時～翌朝午前8時

◆ **小児救急電話相談(対象:15歳未満)**

プッシュ回線・携帯電話	# 8000
ダイヤル回線・IP電話	023-633-0299

◆ **大人の救急電話相談(対象:15歳以上)**

プッシュ回線・携帯電話	# 8500
ダイヤル回線・IP電話	023-633-0799

④ **医療政策課** ☎023-630-3366

マイナンバーカードを作って
マイナポイントをゲットしよう!

最大20,000円分のマイナポイントがもらえる「マイナポイント第2弾」が、現在申込み受付中です。対象は、9月末までにマイナンバーカードを取得済または申請中の方となりますので、お早めの申請がおすすめです。マイナンバー

◆ **マイナンバーカード交付申請方法**

郵送のほか、スマートフォン等によるオンライン申請も可能です。詳しくは、お住まいの市町村にお問い合わせください。

カードの申請方法についてはこちら▶



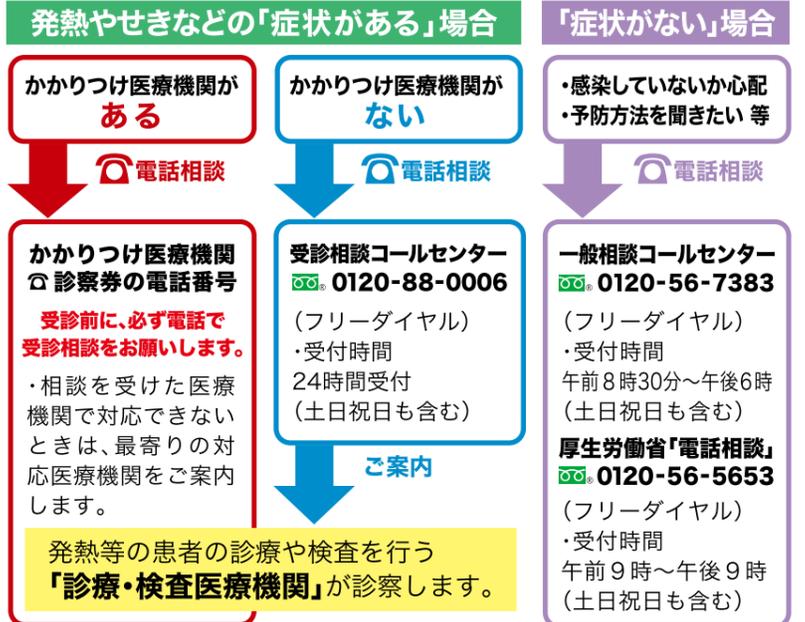
マイナポイントの申込みはこちら▶



④ **マイナンバー総合フリーダイヤル**

☎0120-95-0178

新型コロナウイルス 相談・受診の流れ



山形県ワクチンコールセンター ☎0120-56-7690 (フリーダイヤル)
 ・受付時間 午前8時30分～午後6時(土日祝日も含む)

聴覚や言語機能に障がいがある方については、以下の方法により受付しています。
ファクシミリ 023-625-4294 (月～金曜日(祝日除く) 午前8時30分～午後5時15分)

プレゼントクイズ

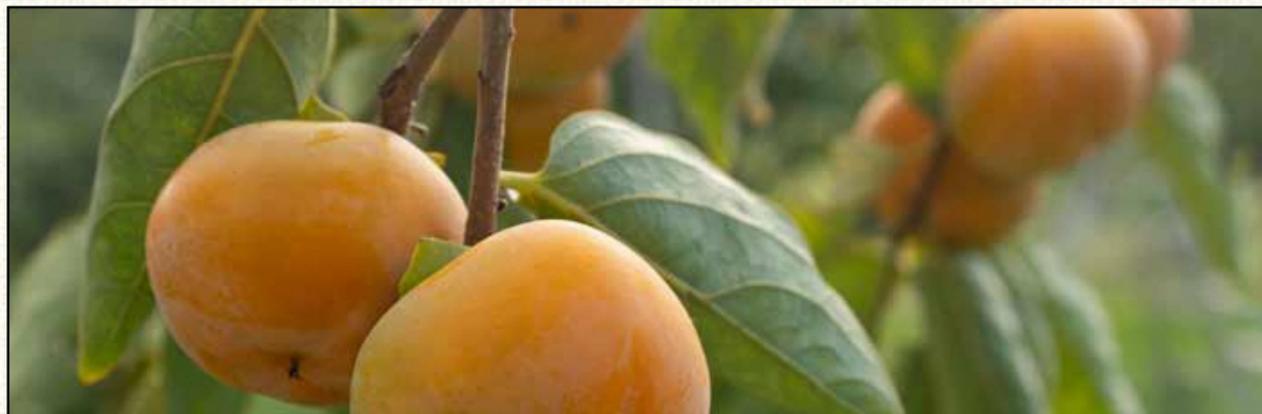
ヒント
 4～6ページ
 特集

果樹の生産が盛んな山形県。果実産出額では、「○○○○○」と「西洋なし」が全国1位を誇ります。さて、○○○○○には何が入るでしょうか?

正解者の中から抽選で右記賞品(指定はできません)をプレゼント!はがきに①クイズの答え②「県民のあゆみ」への感想など③郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入してお送りください。Eメールでの応募の場合は、本文に①～③をご入力のうえ、タイトル「プレゼントクイズ」で、y-ayumi@pref.yamagata.jpに送信してください。

あて先: 〒990-8570(住所は不要です)山形県広報広聴推進課「県民のあゆみ」9月号プレゼントクイズ係

締め切り: 9月30日(金)(当日消印有効) ※応募いただいた個人情報、賞品発送と「県民のあゆみ」の記事作成にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。





どうなってるの!?

やまがたしんかんせんしやりょう 山形新幹線車両センター

今年で開業30周年を迎えた山形新幹線

車両センターでは、どんな作業が行われているの?

安全で安心、快適な新幹線の運行を支える
縁の下の力持ち!

山形新幹線車両センターは、1992年の山形新幹線の開通に合わせて作られました。車両の点検や整備、洗浄など、私たちが普段目にするのができないさまざまな作業を行っています。こちらで行う新幹線の検査は、仕業検査(目で見て判断する検査)と交番検査(機械内部の検査)の2つがあり、2日に1回の頻度で仕業検査を、6万kmの走行につき1回の頻度で交番検査を行います。さらに、山形新幹線車両センターでは、新幹線に加え、在来線である奥羽本線の車両の整備も行います。これは全国でも珍しく、福島駅から新庄駅までの奥羽本線の車両が、普通の在来線の線路(幅1067mm)と異なり、山形新幹線と同じ線路(幅1435mm)を走るように作られているためです。通常、東北エリアの在来線の車両は福島県や宮城県の車両センターで整備されるのですが、奥羽本線新庄駅まで運転されている車両は山形新幹線車両センターで整備されています。



山形県内を駆け抜ける山形新幹線!
JR東日本仙台支社提供

センター内に続く線路は14線。新幹線がたくさん並ぶ姿は圧巻!!



山形新幹線車両センター
吉野 海渡さん

通勤や通学で使う電車を安全に運行するため、車掌や駅員だけではなく、多くのスタッフが協力しています。ボルトを締めたり部品を交換するなど、さまざまな整備を行う人たちがいて、電車が動いていることを知っていただけたらうれしいです。

ポイント



列車版ドライブスルー洗車
JR東日本仙台支社提供

新幹線は、全長約12mの洗車機を通してピカピカにします。新幹線の顔の部分には、手洗いも行っています。



電車の生命線、パンタグラフの整備もここで
JR東日本仙台支社提供

架線から車両に電気を取り込むパンタグラフのスリ板のチェックや、さし油などの整備も行います。



車両の下から、下回りもチェック
JR東日本仙台支社提供

車両センターは、車両の下から車輪などの点検ができるようになっています。ボルト1本のゆるみもないよう、下回りもしっかり検査します。

